

経済学部A方式I日程・社会学部A方式I日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～20	日 本 史	22～38
世 界 史	40～60	地 理	62～70
数 学	72～74		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・ 解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
 - ・ 解答はおもて面と裏面の所定の位置に記入すること。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

イスラーム世界は長い時間をかけ、地域の枠を超えて拡大・発展してきた。とくに中国、東南アジアから南アジア、中央アジア、中東、北アフリカには、ムスリム(イスラームの信徒)が多数を占める都市が多くある。現在、ムスリムの数は15億を超えるといわれている。

アラビア半島にイスラームが誕生したのは7世紀であった。イスラーム誕生以前の時代を、ムスリムはアラビア語で無知・無明を意味する と呼んだ。イスラームの創始者ムハンマドは、40歳のときにアッラーから啓示を授かると自覚し、メッカで神への信仰を説き始めたが、メッカの住民の多数はムハンマドの信仰を冷笑し信者を迫害した。こうした危機を避けるためにムハンマドは622年にメディナへ移住し、メディナにムスリムの共同体 を建設した。以降、ムハンマドは攻勢に転じ、630年にはメッカを征服した。

イスラームとは、唯一絶対神アッラーにすべてを委ねることを意味する。ムスリムたちは、ムハンマドの死後にまとめられた聖典『クルアーン(コーラン)』の教えに従い、六信五行を基本として社会生活を営む。ムスリムの共同体 はただの信仰共同体ではなく、政治・経済・社会活動の場としての生活共同体である。イスラームは単なる信仰にとどまらず、政治・経済・社会・文化を包み込む体系として捉えることが必要である。

632年のムハンマド没後、相次いで選出され指導者となった4人を正統カリフ⁽²⁾という。カリフは後継者を意味し、全ムスリムの政治的・社会的中心たる存在となった。正統カリフの時代、アラブ人は大規模な征服を行ない、ビザンツ帝国からシリアとエジプトを奪い、642年には の戦いでササン朝を破った。アラブ人は征服地に新設の軍営都市を建設して集住し、征服地では支配集団⁽³⁾としての特権的支配を行なった。

第4代カリフのアリーが暗殺されると、アリーと争っていたウマイヤ家の勢力

が661年ダマスカスにウマイヤ朝を開き、711年にはイベリア半島の [1] を滅ぼし版図を広げていった。しかし、ウマイヤ朝は、732年にフランク王国との [4] の戦いに敗北して征服に挫折すると徐々に衰退していった。そして、⁽¹⁴⁾シーア派やイスラームに改宗した非アラブ人の不満を背景に、アッバース家の革命軍が750年にウマイヤ朝を打倒し、アッバース朝が樹立された。

アッバース朝はバグダードを新都として造営し、西は北アフリカ、イベリア半島から、東はインド西北部におよぶ範囲にまで支配を広げ、アッバース朝第5代カリフである [A] の治世中に黄金期を迎えた。9世紀までには、体系化されたイスラーム法に基づく統治が行われるようになり、アラブ人の特権は徐々に失われ、ムスリムの平等が実現されていった。アッバース朝をイスラーム帝国と呼ぶのはこうした理由からである。

イスラームの学問分類では、イスラーム諸学は「固有の学問」、ギリシア、インドなどから伝来した学問は「外来の学問」とされ、⁽¹⁵⁾イスラーム諸学を修めた知識人はイスラーム社会では [5] と呼ばれる。アッバース朝時代には、[5] が学者・教師・裁判官・法律家などの職について重要な役割を演じるようになり、こうした傾向は、イスラーム法の形式主義化を強めた。これにたいして、スーフイズムが9～10世紀以降、イスラーム社会の民衆の間で盛んになっていった。⁽¹⁶⁾

[A] の死後、西トルキスタンやエジプトでは相次いで諸王朝が事実上の独立を果たし、その結果、アッバース朝カリフの権威が及ぶ範囲はバグダードを中心とする小地域へと縮小した。869～883年にはイラク南部でアリー・ブン・ムハンマドが黒人奴隷を率いて蜂起した [6] の乱が発生した。

10世紀は「シーア派の世紀」と呼ばれる。909年には北アフリカにイスマール派がファーティマ朝を建国し、建国当初からアッバース朝に対抗してカリフを自称した。932年に樹立されたイラン系シーア派の軍人政権 [II] は、946年にバグダードを制圧し、大アミールとして実権を握り、アッバース朝カリフの権威を形骸化させた。さらに、756年にウマイヤ朝の一族がイベリア半島のコルドバで起こした後ウマイヤ朝も、929年にファーティマ朝に対抗し、 [B] がカリフを称するようになった。こうして、10世紀初頭には、イスラーム世界に3

世界史

人のカリフが鼎立する状況になったのである。ただし、後ウマイヤ朝は1031年には滅亡した。

東方では、トルコ人によって、イスラーム世界が拡大していった。10世紀末にトルコ系の **III** がサーマーン朝を滅ぼして東・西トルキスタン地方のイスラーム化をさらに進め、11世紀前半にはトルコ系のスンナ派王朝である **IV** が起こった。その建国者トゥグリル=ベクは、1055年にバグダードに入城し、**II** を倒してアッバース朝のカリフにスルタンの称号を認められた。**IV** は、1071年の **7** の戦いでビザンツ軍を破り、イラン系宰相 **C** のもとで行政機構を整備し、イクター制を採用・整備するとともに、**8** 学院を創設してスンナ派諸学⁽⁷⁾の振興につとめた。しかし、**IV** は11世紀末以降、相次ぐ内紛や反乱で衰退に向かった。そして、1077年に **IV** のマムルーク出身者が建国し、カリフの招聘を受けて東方から進出した **V** にイラン高原を奪われて、**IV** は1194年に滅亡した。

同じころ、ファーティマ朝は、クルド族出身の武人 **D** の創建したアイユーブ朝によって倒され、スンナ派の信仰が回復された。こうして、3人のカリフの鼎立という事態は解消されることになった。しかし、**V** はモンゴルの侵攻によって崩壊し、モンゴルのフラグは1258年にバグダードを占領してアッバース朝を倒し、カリフを殺害した。こうして、正統カリフ時代以降のイスラーム世界の秩序はモンゴルによって大きく破壊されたのである。

それでも、イスラーム世界自体が衰退することはなかった。その理由のひとつは、フラグの率いるモンゴル軍の侵入は東方が中心であって、西方は安泰だったということであり、もうひとつはフラグが開いたイル=ハン国⁽⁸⁾は7代君主ガザン=ハンがイスラームに改宗し、文化的にイスラームの伝統が途切れることはなかったからである。

問1 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|---|------------|---|---------------------------------|
| a | アイン＝ジャールート | b | アズハル |
| c | ウラマー | d | ウンマ |
| e | クーファ | f | ザンジュ |
| g | ジャーヒリーヤ | h | シャリーア |
| i | スーク | j | トゥール・ボワティエ <small>ボワティエ</small> |
| k | ニザーミーヤ | l | ニーシャープール |
| m | ニハーヴァンド | n | パニーパット |
| o | ヒジャーズ | p | マラーズギルド(マンジケルト) |
| q | ミスル | r | ワクフ |

問2 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|---|---------|---|-----------|
| a | イフシード朝 | b | カラ＝ハン朝 |
| c | ゴール朝 | d | ザンギー朝 |
| e | セルジューク朝 | f | トゥールーシ朝 |
| g | 西ゴート王国 | h | 東ゴート王国 |
| i | ブワイフ朝 | j | ホラズム＝シャー朝 |

問3 空欄 から に当てはまるもっとも適切な人名を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|---|---------------|---|--------------|
| a | アブド＝アッラフマーン3世 | b | アブド＝アルマリク |
| c | サラディン | d | ニザーム＝アルムルク |
| e | バイバルス | f | ハールーン＝アッラシード |
| g | マフムード | h | マリク＝シャー |
| i | マンスール | j | ワリード1世 |

世界史

問4 下線部(1)に関して、次のア～カのうち、六信五行に関することの説明として正しいものの組み合わせを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 「天使」は六信のひとつである。
- ② 六信のひとつである「預言者」はムハンマドのこののみをさす。
- ③ 五行のひとつである「断食」を行うラマダーン月とは、イスラーム暦第6番目の月のことである。
- ④ 五行のひとつである「ザカート(喜捨)」とは、ムスリムの収入、財産に課される一種の救済税である。

- | | | |
|------|------|------|
| ア ①② | イ ①③ | ウ ①④ |
| エ ②③ | オ ②④ | カ ③④ |

問5 下線部(2)に関して、次のア～エのうち、第1～3代の正統カリフではないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|----------|
| ア アブー＝バクル | イ ウスマーン |
| ウ ウマル | エ ムアーウィア |

問6 下線部(3)に関して、次のア～エのうち、はじめは征服地の先住民にのみ課され、のちにムスリム・非ムスリムを問わず課されるようになった地租の名称として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| ア アター | イ ジズヤ | ウ ディーワン | エ ハラージュ |
|-------|-------|---------|---------|

問7 下線部(4)に関して、次のア～エのうち、シーア派に関することの説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 1501年に樹立されたイランのサファヴィー朝はシーア派を国教とした。
- イ シーア派は4代正統カリフのアリーとその子孫をムハンマドの後継者とする。
- ウ シーア派では最高指導者の事をマワーリーという。
- エ 現在シーア派の信者はムスリム全体の10%程度である。

問8 下線部(5)に関して、次のア～エのうち、「外来の学問」に分類されるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 医学 イ 詩学 ウ 法学 エ 歴史学

問9 下線部(6)に関して、次のア～エのうち、スーフィズムに関連する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア スーフィーとはイスラーム法の外面的な形式よりも内面的な精神性や信仰を重んじて、修行に励む人々のことをいう。

イ 12世紀以降、特定のスーフィーがリーダーとなって多くの神秘主義教団が結成された。

ウ セルジューク朝時代のイラン系神学者であるガザーリーは、イスラーム信仰の基礎としてスーフィズムの考えを理論的に体系化した。

エ スーフィズムは、メッカから遠く離れたアフリカや中央アジアなどアラビア語を母語としない地域のイスラーム化を促す役割を果たした。

問10 下線部(7)について、次のア～エのうち、イクター制に関することの説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア イクター制とは、軍人や官僚に対し、国家から授与された分与地の徴税権を与えた制度である。

イ イクター制は、オスマン帝国の軍事封土制であるティマール制に影響を与えた。

ウ エジプトにはアイユーブ朝によってイクター制が導入された。

エ イクター制を最初に導入したのはカラ=ハン朝である。

世界史

問11 下線部(8)について、次のア～エのうち、イル＝ハン国のガザン＝ハンが宰相として採用し、ペルシア語で書かれたモンゴル中心のユーラシア世界史『集史』を編纂した人物の名前を一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア イブン＝ハルドゥーン

イ タバリー

ウ フィルドゥシー

エ ラシード＝アッディーン(ウッディーン)

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

フランス革命から第三共和政にいたるまでの重要な政治課題の一つは、労働者の貧困問題をどのように解決するかであった。

フランス革命は、一部の者の特権を擁護した身分制社会を打破し、自由で平等な市民による社会を構想した。⁽¹⁾しかし身分制が廃止され、⁽²⁾身分の上では平等になったとしても、財産を有しない労働者や小作農にとっては日々の生活困窮が解決されなければ、平等を実感することはできなかった。こうした不満が、次第にブルジョワと労働者の階級対立として社会問題化していき、政府にとって重要な政治課題となったのである。

まず革命当初の立憲王政下では、憲法制定議会に貧困者の根絶を検討する委員会が設置された。委員会では、宗教的な慈善活動による貧困者救済を否定し、政府の責任において、市民の「生存の糧を得る権利」を保障するべきであると論じられた。こうした主張は、王政を廃止して誕生した第一共和政においても引き継がれた。⁽³⁾山岳派の主導で作られた1793年憲法は社会が困窮した市民を救済する義務を負うことをうたったが⁽⁴⁾施行は⁽⁵⁾延期された。理念のみで、具体的な救済方法の検討が不十分であり、政府による貧困者救済は、革命の混乱下でほとんど機能しなかった。

1794年のテルミドールのクーデタで、ブルジョワ勢力が政権を掌握すると、政府による貧困者救済の検討は立ち消えになった。こうした動きに対して、貧しい農民に均等に土地を配分することで、生活上の平等を実現しようとした A が、総裁政府を打倒する計画を立てるなど、政治的に不安定な状況が続いた。

こうした状況を打開するために強い指導者が期待された。ナポレオンは、皇帝による人格的支配と対外戦争によるナショナリズムの喚起で、フランス国民をまとめようとした。⁽⁶⁾

ナポレオンによる帝政が崩壊すると、ブルボン朝が復活したが、⁽⁷⁾旧体制再興に向かう反動的な政策によって国民の支持を失い、1830年に七月革命が起きた。その結果成立した七月王政のもとでは、⁽⁸⁾銀行家などの大ブルジョワの利害を強く反

世界史

映した政策が実施され、産業革命の進展が助長された。そのため賃金労働者が増加し、労働者の貧困問題も社会問題化していったが、ブルジョワの中には、階級対立の融和を図るために、協同組合の設立や企業内福祉の充実を図る者もいた。

一方で、労働者の立場から資本主義社会を批判する社会主義者も登場した。例えば、 は、私有財産制を制限して、生産や消費を協同でおこなう小規模な共同体(ファランジュ)からなる理想社会を提示した。また は、著書『所有とは何か』で労働にもとづかない私有財産を批判し、労働者による自治や自主管理を重視した。 の主張は、一切の政治権力の存在を否定する思想に大きな影響を与え、こうした思想等の影響によって労働運動が盛んになり、階級対立が深刻化していった。

七月王政下での厳しい制限選挙に対して、選挙権の拡大を求める運動が盛んになってくると、首相であった はその運動を弾圧した。それに反発したパリの民衆が蜂起し(二月革命)、その結果、国王は退位して、1848年に再び共和政に移行した。第二共和政の臨時政府には、社会主義者である が入閣し、労働委員会の委員長として国立作業所を設置した。しかしその後、財政負担などの理由により数カ月で国立作業所は閉鎖された。それに反発したパリの労働者は蜂起したが鎮圧された。

その後、ルイ＝ナポレオンの第二帝政の崩壊後に、再度パリで民衆蜂起がおき 自治政権が樹立された。しかし臨時政府の行政長官であり、後に第三共和政の初代大統領となった によって鎮圧された。しかしこの第三共和政期に、ブルジョワからの融和策でもなく、労働者からの革命でもない、第三の思想として社会連帯思想が提起されたのである。この国民の生活上のリスクを共有することによる社会連帯思想は、その後、福祉国家体制として具体化していくことになった。

問1 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| a カヴェニャック | b ガンベッタ | c ギゾー |
| d サン＝シモン | e テイエール | f トクヴィル |
| g バブーフ | h フーリエ | i ブルードン |
| j マルクス | k ラマルテイエス | l ルイ＝ブラン |

問2 下線部(1)に関して、次のア～エのうち、革命前のフランス身分制に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア 特権身分である第一身分(聖職者)、第二身分(貴族)は、全人口の約2%程度であったが、全土の約40%の土地を所有し、免税などの特権を有していた。

イ 第三身分とは、平民であり、農民と市民からなる。シェイエスは「第三身分とは何か」というパンフレットで、「第三身分はフランスの全てであるが、権利においては無である」と主張した。

ウ ルイ16世は、175年ぶりに三部会を開催した。第一身分と第二身分は身分別の議決法を主張したが、第三身分は反対した。

エ 革命が始まると、小商店主・職人など下層都市市民が先鋭化していった。彼らは平民の服であるキュロットを身に着けていたことからサン＝キュロットと呼ばれた。

問3 下線部(2)に関して、次のア～ウのうち、社会契約説にもとづき市民社会を構想した思想家に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はエを選べ。

ア ホッブズは『リヴァイアサン』を著し、自然状態においては各々が自然権を主張し、やがて戦争状態におちいるため、人々は契約して政府を作り、為政者に自然権を委ねるべきであると述べた。

イ ロックは『統治二論』を著し、政府に対する人民の抵抗権を擁護し、アメリカ独立革命を支持した。

ウ ルソーは『人間不平等起源論』を著し、自然状態では人間は平等であったが、私的所有の開始が不平等を生じさせたと論じ、フランスの絶対王政を批判した。

世界史

問4 下線部(3)に関して、次のア～オのうち、第一共和政下(国民公会の共和政の宣言からナポレオンの皇帝即位の間)で実施された政策として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はカを選べ。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ア 革命暦 | イ 最高価格令 |
| ウ 徴兵制 | エ フランス銀行の創設 |
| オ 人権宣言(人間および市民の権利の宣言) | |

問5 下線部(4)に関して、次のア～エのうち、山岳派に関連する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 山岳派は、パリのジャコバン修道院を本拠にしていたジャコバンクラブの最左派のことであり、国民公会の議場の高い場所に席を占めていたことからそう呼ばれた。
- イ 山岳派は農民層の革命支持を拡大するために、1793年7月に領主・地主に農民が支払う封建地代を無償で廃止した。
- ウ 山岳派は、1793年には国民公会を停止し、最高指導機関として公安委員会や、反革命分子の処刑を推進するための革命裁判所を設置して、ロベスピエールを中心とした恐怖政治を行った。
- エ 山岳派内にも、恐怖政治を批判するダントンなどの勢力もあったが、ロベスピエールと対立して処刑された。テルミドールのクーデタには、ダントン派の残党も加わった。

問6 下線部(5)に関して、次のア～エのうち、1793年憲法が制定した内容として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- | | |
|--------|----------|
| ア 国民主権 | イ 男性普通選挙 |
| ウ 抵抗権 | エ 二院制議會 |

問7 下線部(6)に関して、ナポレオンの対外戦争によって、ヨーロッパの各地で国民意識が芽生え、改革を行う国もあった。次のア～エのうち、この時期のプロイセン改革に関わる説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア シュタインによる農奴制の廃止
- イ ハルデンベルクによるプロイセン憲法の制定
- ウ シャルンホルストやグナイゼナウによる軍制改革
- エ フンボルトによるベルリン大学の創設

問8 下線部(7)に関して、次のア～エのうち、復古王政期の政策に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 復古王政で最初に王位についたのは、ルイ16世の弟のルイ18世であった。カトリックを国教化する一方、出版の自由など革命の成果も一部継承した。
- イ 次に王位についたシャルル10世は、革命期から反革命勢力の中心的存在であったため、亡命貴族に多額の補償金を支払う法律を作った。
- ウ シャルル10世は、国民の不満をそらすために、当時オスマン帝国の支配が弱まっていたアルジェリアに出兵し占領した。
- エ シャルル10世は、議会選挙で反国王派が多く当選すると、新議会を招集せずに解散した。これをきっかけに七月革命が起きた。

世界史

問9 下線部(8)に関して、七月革命の勃発は周辺諸国にも影響をもたらしたが、次のア～エのうち、その影響に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア ハンガリーでは、急進的民主主義を唱えるコシュートがオーストリアに憲法改正を認めさせ、最初のハンガリー内閣を成立させた。

イ ドイツでは、自由主義者や急進派による蜂起が各地でおきた。これらの動きはメッテルニヒによって弾圧された。

ウ ウィーン会議でオランダに併合された南ネーデルラントでは、暴動がおき、その地域はベルギー王国として独立した。

エ ポーランドでは、ロシア皇帝が国王を兼務していることに反対してワルシャワで蜂起がおきた。この蜂起の失敗を聞いたショパンは「革命」を作曲した。

問10 下線部(9)に関して、次のア～エのうち、イギリスの初期の社会主義者であるロバート・オーウェンに関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア オーウェンは、ニューラナークの紡績工場の経営者であったが、労働者の労働環境と生活環境の改善を積極的に行い、次第に社会主義者になった。

イ オーウェンは、1819年の工場法の制定にも尽力し、9歳以下の労働禁止や児童の労働時間短縮などが規定された。

ウ オーウェンは、アメリカに渡り、共産主義的な生活と労働の共同体ニューハーモニーを設立したが失敗し、後に帰国して、全国労働組合大連合の結成に尽力した。

エ オーウェンは、サン＝シモンを、人道的ではあるが、方法が科学的でないとして空想的社会主義者と批判した。

問11 下線部⑩に関して、次のア～エのうち、こうした思想に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア こうした思想はアナキズムと呼ばれ、個人の自主的な結合による社会を目指した。
- イ 第三共和政下では、この思想の影響を受けたサンディカリズムが労働総同盟の運動指針になった。
- ウ ロシアのバクーニンは、こうした思想を発展させ、フランスのサンディカリズムにも影響を与えた。
- エ マルクスは、こうした思想をプロレタリア独裁の立場から肯定し、国際労働者協会の運動指針とした。

問12 下線部⑪に関して、次のア～エのうち、第二共和政下で実施されたことに関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 1848年4月に実施された選挙は、男子普通選挙であった。
- イ この選挙の結果、国民の多数を占める労働者の意見が反映され、社会主義者の意向を反映した政府が成立した。
- ウ 1848年12月に実施された大統領選挙で当選したのは、ルイ＝ナポレオンであった。
- エ ルイ＝ナポレオンは、1851年にクーデタを起こし議会を解散し、翌年に国民投票により帝政に移行することの承認を得た。

問13 下線部⑫に関して、第二帝政下では、国民の不满をそらすために積極的な外征を行った。以下のア～エが開始された年を古い順に並べたとき、1番目と4番目にくる外征を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|------------|
| ア アロー戦争 | イ イタリア統一戦争 |
| ウ インドシナ出兵 | エ クリミア戦争 |

世界史

問14 下線部③に関して、次のア～エのうち、この自治政権に関する説明で、間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア この自治政権ができるきっかけは、臨時政府がプロイセンとの戦争の敗北を認め、パリ国民兵の武装解除を進めようとしたことに、民衆が反発したことによる。

イ パリの民衆は、選挙でコミューン議会を樹立して、臨時政府からの自立を宣言した。この政権は、労働者や中下層市民による政権としては史上初のものであった。

ウ 自治政権は、労働者による仕事場の自主管理などを試みた。

エ 臨時政府は、プロイセンの支援を受け、自治政権と「血の月間」と呼ばれた壮絶な市街戦を行い鎮圧した。自治政権は、約1年で崩壊した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

19世紀のラテンアメリカ諸国の独立の背景には、複雑な国際関係があった。また、ラテンアメリカでは、先住民 やアフリカ系黒人奴隷を底辺とし、本国スペイン生まれの白人 を頂点とした、厳しい階層社会が築かれており、各層の利害対立が独立の道を左右した。

ラテンアメリカの独立に向けた第一歩は、「反乱の世紀」と呼ばれた18世紀に見出せる。18世紀後半にペルーやボリビアでは、宗主国スペイン直属の地方行政官の行う税の取立てに反発した数十もの蜂起が相次いで起こった。中でも、1780年にペルーで起こった の反乱が大規模であった。これらの反乱の首謀者は、先住民と白人の混血である の出身者が多かった。彼らの起こした反乱は、それより底辺の社会層の賛同を得て大規模になったものの、支配者層に属した、南米生まれの白人たちである の支持を得られずに挫折した。

一方、カリブ海のフランス領のサン＝ドマングでは、フランス革命に触発されて、1791年に黒人奴隷による解放運動が発生した。これに対して、イギリスがスペインと共同で侵攻し弾圧をはかったが、民衆の果敢な抵抗を受け、数年後に撤退した。1794年に黒人奴隷解放宣言を發したフランスも、実権がナポレオンにうつると解放運動を弾圧した。1802年、解放運動の指導者 を捕縛し、フランス本国に連行して翌年に獄死させた。この結果、解放運動はフランスに対する独立戦争へと転じ、1804年に独立宣言が出され、初の黒人共和国が誕生した。しかし、イギリスやスペインのみならず、イギリスから独立した経験をもつアメリカ合衆国も、黒人奴隷の蜂起が波及することをおそれ、新共和国の独立を承認しなかった。

1808年にナポレオンがスペインに侵入したことで、スペインのラテンアメリカ諸地域への支配に揺らぎが生じた。このとき の商人や地主は、イギリスとの経済的関係を強化することをめざし、スペインからの離脱をはかった。この過程で がコロンビア、ベネズエラを解放して大コロンビア構想を実現し、 の支援でアルゼンチン(ラプラタ連邦)、チリ、ペルーが独立を宣言した。オーストリアをはじめとした諸国は、ラテンアメリカ諸国へ武力干渉

世界史

しようと訴えた。しかし、アメリカ合衆国大統領は、ラテンアメリカ諸国の独立への不干渉を促し、イギリス外相 [5] もこれを支持したことで、これらのラテンアメリカ諸国の独立は承認されていった。一方、独立したラテンアメリカ諸国は、上に述べたサン＝ドマングの黒人共和国の独立を承認しなかった。この黒人共和国は多額の代償金を支払ってフランスに1825年独立を承認させたが、その支払いに長年苦しみ、奴隷制も復活させた。

ラテンアメリカ諸国のなかで人口が最も多かったメキシコが独立したのは1821年である。メキシコではナポレオンのスペイン侵入直後、 [B] が [D] への監視を強化し、その独立運動を弾圧した。これに対し、1810年カトリック司祭の [6] らが蜂起した。しかし、この抗議が社会的に下の階層の人々を巻き込みだすと、メキシコの [D] はそれを支持せず、活動は鎮圧された。1821年のメキシコの独立は、前年にスペイン本国で自由主義的な運動が高まったこと⁽²⁾に対して、その余波をメキシコに及ばせないようにするという、強く保守的な動機から達成された。独立の立役者イトゥヒルデは、 [6] らの運動の鎮圧に回った人物で、周辺諸国に軍を送り、中央アメリカおよび現在の北米の南半分にあたる地域も含めてメキシコ帝国を想定し、その皇帝を名乗った。数年後、中央アメリカ連邦がメキシコから離脱して独立した。さらに1820年代から1850年代にかけてアメリカの露骨な領土拡張政策のもと、メキシコが当初想定⁽³⁾していた北米領は極度に縮小していった。

19世紀後半、アメリカ合衆国への敗北を受けて、メキシコ国内では、自由主義運動をめざす革新派と、軍人や大地主や教会の支持を得る保守派が対立し、内戦が勃発した。まず1855年に自由主義革命が起こったが、革命後の政権で頭角をあらわした自由主義者 [7] は、植民地社会では底辺に位置した [A] の出身であり、のちに大統領に就任したが基盤が脆弱であったため、反革命クーデターが起こったのである。しかし [7] はこの保守派の反動クーデターに1861年に勝利をおさめ、土地改革や教会財産没収など民主化政策をすすめた。ところが、財政難から対外利子支払いの一時停止を宣言したため、フランス・イギリス・スペインの干渉を招き、オーストリア大公の [8] が1864年からメキシコ皇帝を名乗り帝政が始まった。しかし、これに対しても [7] は1867年

に支配権を奪還した。[7] の死後、同じく [A] 出身で [7] のもとで戦ってきた [9] が、クーデターののち独裁を三十年以上行った。その中で地主階級の特権が復活し、外国資本の支配が強まった。

1910年、自由主義者で1911年に大統領になった [10] や、農民運動指導者の [11] らが、この独裁政権を倒した。このメキシコ革命は、二つの点でそれまでの政治運動を凌駕する裾野をもっていた。第一に、新しく増大した労働者や、極貧の農民をも巻き込んだ社会革命であったこと、第二に、外国資本からの自立を目指したことである。この革命の理念と独立・自立の思想は、各地の革命と独立の運動に影響を及ぼした。

一方、カリブ海諸島諸国の独立については、19世紀末から20世紀初頭にかけて、アメリカ合衆国が介入の度を強めていた。1898年の米西戦争時の合衆国大統領 [12] は、キューバの独立支援を戦争名目としたが、戦後キューバやプエルトリコを保護下においた。こうしてカリブ海諸国は独立後も、社会的不平等と外国からの自立の問題を抱え続けた。

問1 空欄 [A] から [D] にあてはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| a アシエンダ | b インディオ | c エンコミエンダ |
| d カウディーリョ | e クリオーリョ | f ペニンスラール |
| g ムラート | h メステイーン | |

世界史

問2 空欄 から にあてはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------------|------------|
| a イダルゴ | b ヴァルガス |
| c ウェルタ | d カニング |
| e カランサ | f サン＝マルティン |
| g シモン＝ボリバル | h デイズレーリ |
| i トゥサン＝ルヴェルチュール | j トウパク＝アマル |
| k パーマストーン | l ビット |
| m ビリヤ | |

問3 空欄 から にあてはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|-------------------|
| a カルデナス | b グラント |
| c サパタ | d セオドア＝ローズヴェルト |
| e ディアス | f フアレス |
| g フランツ1世 | h フリードリヒ＝ヴィルヘルム4世 |
| i ベロン | j ホセ＝リサール |
| k マクシミリアン | l マッキンリー |
| m マデロ | n モンロー |
| o レセップス | |

問4 下線部(1)に関して、次のア～オのうち、イギリスとアメリカの奴隷解放に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア イギリスでは、ウィーン体制の成立以前に、福音主義者ウィルバーフォースらの努力によって奴隷貿易禁止法が制定されていた。

イ イギリスで、1833年にグレイ内閣が制定した奴隷解放法では、政府が奴隷所有者に補償を行うことになっていた。

ウ アメリカ合衆国では、ミズーリを、奴隷を禁止する自由州とするか、奴隷を容認する奴隷州とするかの議論が起こり、1820年にこの州は自由州となった。

エ 1847年、アメリカ合衆国の解放奴隷が中心となって独立した国がリベリアである。

オ アメリカ合衆国の奴隷制の全面的禁止は、南北戦争後の憲法修正で保障されたが、南部州は1865年に黒人取締法を制定し、実質上奴隷制を維持した。

問5 下線部(2)に関して、1815年から1829年までに起こったヨーロッパにおける自由主義者たちの運動に関する次のA～Dの出来事の発生順として正しいものをア～エのなかから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

A ロシアにおけるデカブリストの乱の発生

B ドイツにおけるブルシェンシャフトの結成

C イタリアのカルボナリ指導によるナポリ・ピエモンテでの反乱の鎮圧

D スペイン立憲革命へのフランス軍の介入と国王復位による革命の終結

ア C-B-A-D

イ B-D-C-A

ウ D-B-A-C

エ B-C-D-A

世界史

問6 下線部(3)に関して、19世紀前半のアメリカ合衆国のメキシコ領への領土拡張について書かれた次の文中の空欄 から にもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

アメリカ合衆国は、メキシコ独立直前の1819年に をスペインから買収したのち、西漸運動を進め、スペインから独立しメキシコ領となった のような地域にもアメリカ系移民の入植を加速させた。1836年、 のアメリカ系住民がメキシコからの分離独立を宣言し、共和国を樹立し、1845年、アメリカ合衆国はここを自国州として併合した。これを背景に翌年、アメリカ＝メキシコ戦争が勃発し、勝利したアメリカ合衆国はニューメキシコ・ ・ をはじめとした地域にまたがる広大な土地をメキシコに割譲させた。 は1850年州に昇格し、さらにアメリカ合衆国は1853年にメキシコから とニューメキシコの南端部を購入し、リオグランデ川流域の不安定な国境線を確定した。

- | | |
|--------------|-----------|
| a アリゾナ | b インディアナ |
| c ウィスコンシン | d カリフォルニア |
| e カンザス＝ネブラスカ | f テキサス |
| g フロリダ | h ミズーリ |
| i ルイジアナ | |

(白 紙)